

文系軽視・理系偏重は日本を滅ぼす

京都大学名誉教授 佐和隆光

- * 文部科学大臣通知の衝撃
- * 旧ソ連、中国は理系偏重
- * 英国のエリートは歴史学科に進む
- * フランスでは理系でも哲学が必須科目
- * 日本の学生は圧倒的に勉強時間が少ない
- * 膨大な読書を課される米国の大学生
- * 読解力低下の悲惨な現状
- * 世界はSTEMからSTEAMへ
- * スティープ・ジョブズの名言
- * 日本に向いているのは米国型教育システム



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は佐和隆光先生に来ていただきました。東京大学を出られた後、京都大学で長く教鞭をとられ、その後、滋賀大学の学長をなさいました。特に今日のテーマである文部科学省の教育行政についていろいろご発言をされております。私自身も最近の文科行政については、非常に管理色の強い強引なことをしているということ、たいへん危惧の念も抱いております。そういう意味でこの問題についてきちんと語っていただける方を探しておりました。佐和先生は大学の本来のあり方、特に最近理系重視ということで、リベラルアーツとか、人文知とかが非常に軽視されていることを憂慮され、警鐘を鳴らしておられます。皆さんの中にもそういう危惧の念を

抱いている方が多いかと思いますが、今日はどういったことを本来の姿に基づいてお話しただけだと思います。

それでは佐和先生、よろしくお願いたしました。（拍手）

文部科学大臣通知の衝撃

佐和 ご紹介いただきました佐和でございます。それでは、ご覧のようなタイトルにつき1時10分までお話しさせていただいて、残り10分で皆様方のご質問をお受けいたしたいと思っております。

私は、理系を重視すべきではないと言っているのではなくて、理系偏重というのがよくないということです。理系偏重は文系軽視と同義な